

連続講座 「わたしも大事 あなたも大事」

講演録 完成記念対談

裊岩奈々さん (Kids Hurt Too Hawaii 理事)

&

保坂展人さん (世田谷区長)

2014年12月から2015年7月まで4回にわたって開催したグリーフサポートせたがやの連続講座「わたしも大事 あなたも大事」の講演録ができました！完成を記念して連続講座第1回の講師 裊岩奈々さんと世田谷区長の保坂展人さんをお招きし、さまざまな喪失体験をもつ子どもたちが安心して集える場づくりについてお話をうかがいます。ぜひご参加ください。

日時 2016年 **3月20日** (日・祝)
午後7時～9時 (開場 午後6時半)

場所 **世田谷区男女共同参画センター らぶらす**
(研修室3・4) (下北沢駅南口徒歩5分)

参加費 1500円☆ 講演録1冊つき！
(介助者無料、手話通訳・ノートテイクあり)

お申し込み・お問い合わせ griefsetagaya@yahoo.co.jp

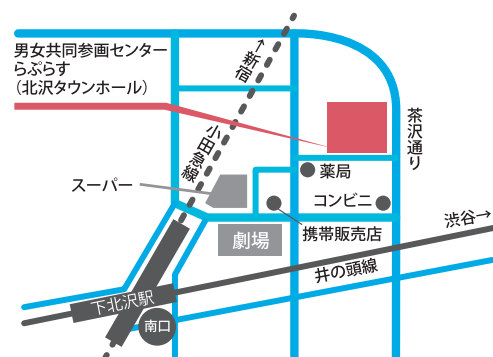
裊岩奈々 (ほろいわ・なな) さん

Kids Hurt Too Hawaii 理事。不登校の子どもたちや居場所づくりに携わり、荻窪に「カウンセリングルームブリメイル」を開設。著書に『感じない子ども ところを扱えない大人』『〇のない大人×だらけの子ども』(集英社)、『いじめや仲間はずれから身をまもる』(ポプラ社) 他多数。

保坂展人 (ほさか・のぶと) さん

世田谷区長。高校進学時の内申書をめぐり、16年間の「内申書裁判」をたたかう。教育ジャーナリストを経て、1996年より2009年まで衆議院議員を3期11年(03～05年除く)務める。2011年4月より現職。『闘う区長』(集英社新書)、『88万人のコミュニティデザイン：希望の地図の描き方』(ほんの木) 他多数。

世田谷区北沢 2-8-18 北沢タウンホール 11 階



グリーフサポートせたがや (グリサポせたがや) って？

米国オレゴン州に「ダギーセンター」という団体があります。ダギーセンターは、死別を体験した子どもたちが集い、遊びやおしゃべりを通じて、悲しみやつらい気持ちに向き合うことのできる家です。自分たちが暮らす地域でも同じような活動を始めたいと思い「グリーフサポートせたがや」を立ち上げました。世田谷区太子堂にある「サポコハウス」で子どもや大人を対象にグリーフサポートプログラムや個別相談を行っています。

私たちは、死別喪失だけでなく、離別、暴力被害 (安心感の喪失)、紛争や自然災害による被災 (住まいや地域とのつながり、経済的な生活手段の喪失)、失業や就職難 (希望の喪失)、貧困 (人間らしい生活を営む権利の喪失)、いじめ、年齢・性・民族・宗教・障害・性指向や性自認などによる差別 (自尊心やアイデンティティの喪失)、非婚や不妊などへの社会の不寛容 (自己肯定感の喪失) など、直接・間接的な要因に起因するすべてをグリーフと捉えています。

HP sapoko.org f www.facebook.com/griefsupportsetagaya

主催：一般社団法人グリーフサポートせたがや





グリーフサポートせたがや連続講座

「わたしも大事 あなたも大事」講演録

多様な専門分野で活動されている講師の方々をお招きして、それぞれの視点から「わたしも大事 あなたも大事」というテーマについてお話しいただきました。グリーフとひとくちに言っても、一人ひとりの置かれている状況も、抱えているものも異なります。一つとして同じグリーフはありません。その多様性に目を向ける機会になればと願って開催した連続講座の記録です。2014年10月に行われた「サポコハウス」オープン記念イベントの対談、『あいまいな喪失とトラウマからの回復』出版を記念した講演も収録されています。たくさんの方に届くことを願っています。

内容

第1回

「わたしも大事 あなたも大事」にできるコミュニケーションとは？

巖 奈々さん（Kids Hurt Too Hawaii 理事）

第2回

再会への序論—止まった時間を動かす

熊谷 晋一郎さん（小児科医、東大先端科学技術研究センター特任講師）

第3回

多様なセクシュアリティを生きるということ

～生きづらさの根底にある構造と私たちの視線～

山下 梓さん（岩手レインボー・ネットワーク代表、ゲイジャパンニュース共同代表）

第4回

自殺の心理、遺族の心理

張 賢徳さん（帝京大学医学部附属溝口病院精神神経科教授）

【特別収録】

1. 「サポコハウス」オープン記念対談 入江杏さん&保坂展人さん
2. 『あいまいな喪失とトラウマからの回復』監訳者石井千賀子さんの出版記念講演



本体価格 1,000 円

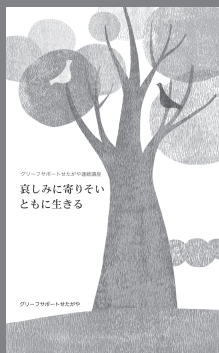
新書判・本文 272 頁（予定）

発行 グリーフサポートせたがや

ご注文は griefsetagaya@yahoo.co.jp、

Fax: 03-6453-4926 まで。

グリサポせたがやの既刊本



本体価格 1,000 円

新書判・本文 272 頁

発行 グリーフサポートせたがや

グリーフサポートせたがや連続講座

『哀しみに寄りそい ともに生きる』講演録

大切な人を突然失った哀しみやその後の不安。あるいは暴力を生き延びる日々。そして、哀しみに寄りそい、ともに生きる社会を創造する活動の実践。たくさんの方の想いが詰まった一冊です。

内容

悲しみを生きる力に

入江杏さん（ミシユカの森）

死別を体験した子どもによりそう～沈黙と『あのね』の間で

西田正弘さん（NPO 法人 子どもグリーフサポートステーション）

性暴力 その後を生きる

中島幸子さん（NPO 法人 レジリエンス）

『さよなら』のない別れ 別れの『さよなら』

石井千賀子さん（ルーテル学院大学、TELL カウンセリング・センター）

『誰も自殺に追い込まれることのない社会』を目指して

清水康之さん（NPO 法人 ライフリンク）

喪失を贈り物に変える

水野治太郎さん（麗澤大学名誉教授、NPO 法人 千葉県東葛地区「生と死を考える会」）